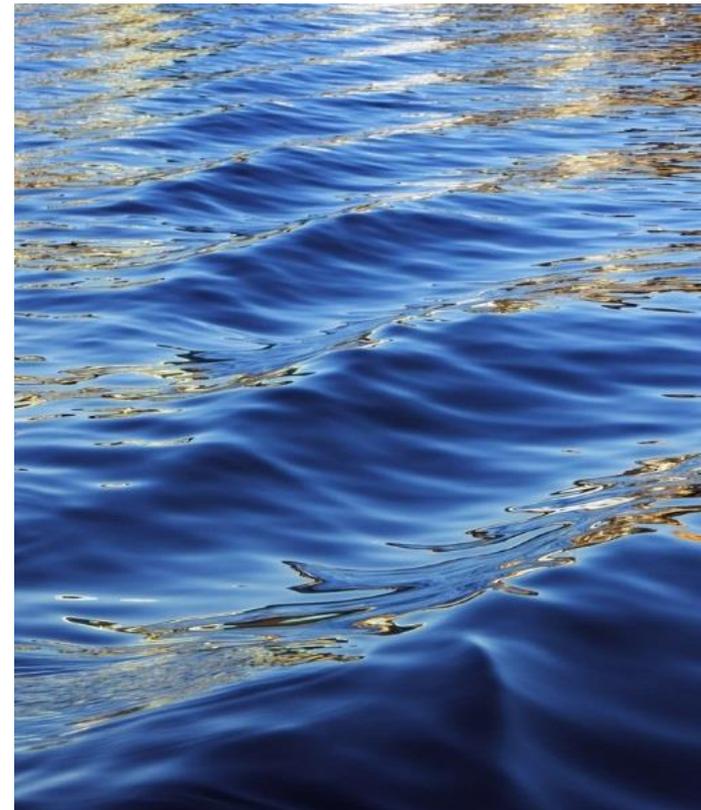




環境マネジメント レポート

あなぶきエンタープライズ 公民連携（PPP）事業部
活動期間 2020年4月～2021年3月



環境経営方針

穴吹エンタープライズ株式会社は、地域社会に生かされ生きる企業を目指し、全ての事業活動において環境負荷の削減に努め、持続可能な低炭素社会及び循環型社会の実現に向けて、社会的責任を果たします。

1. お客様に満足していただける、安全で快適な環境を提供します。

お客様にご利用いただく施設環境の向上に努め、環境負荷に配慮した商品とサービスの提供を推進します。

2. 廃棄物の適正処理と削減に取り組めます。

(1) 3Rを推進し、廃棄物の削減を目指します。

※ 3R (Reduce:発生抑制 Reuse:再使用 Recycle:再資源化)

(2) 食品リサイクル率の向上・生ごみ廃棄物の発生抑制を推進します。

3. SDGsの理念を尊重し事業活動と社会貢献活動を通じて、その目標達成に貢献します。

4. 法令を遵守します。

環境に関する法規制等を遵守し、環境保全に努めます。

5. 啓発活動の推進

全スタッフへ環境に関する教育を行い、社会の環境意識の向上を図ります。

ISO14001 適用範囲

1. 適用範囲（事業所名）

穴吹エンタープライズ株式会社 公民連携（PPP）事業部

2. 所在地

香川県高松市福田町11番地 1

3. 適用範囲で行われる事業

指定管理者事業

4. 業務内容

指定管理者制度に基づき、地方自治体より委託された公共施設の管理運営を行う

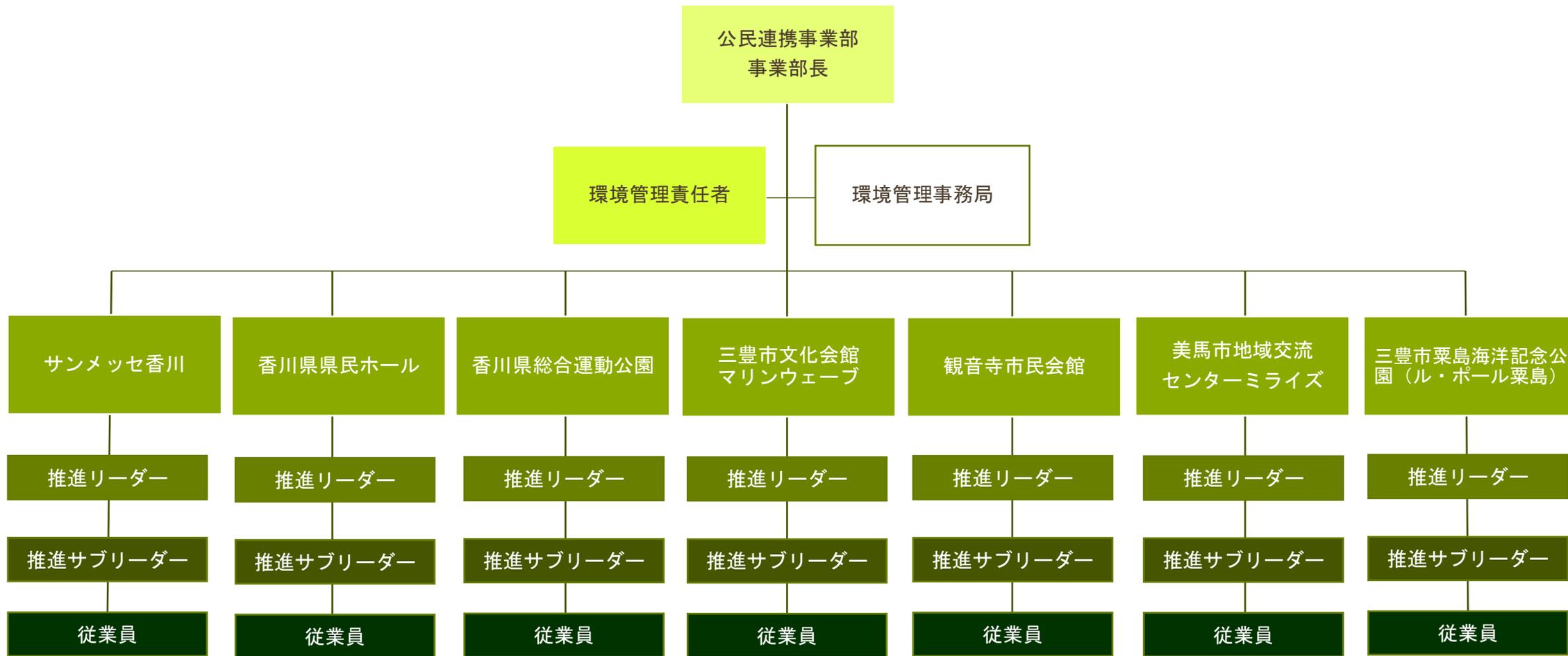
5. 適用施設（2021年3月現在）

サンメッセ香川、香川県県民ホール、香川県総合運動公園、

三豊市文化会館マリンウェーブ、観音寺市民会館

美馬市地域交流センターミライズ、三豊市栗島海洋記念公園（ル・ポール栗島）

ISO14001 実施体制 (2021年3月現在)





各施設 環境活動報告



1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



■施設紹介

香川インテリジェントパーク内にある、県内最大の総合コンベンション施設です。

大小2つの展示場と、様々な会議室をご用意しております。

大規模なイベント、見本市、展示会から小人数の会議・勉強会まで幅広くご利用頂いております。

■所在地

香川県高松市林町2217-1

■施設規模

敷地面積：37.426㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	124,316	247,983	×	123,667

【実績値評価 要因】

- ・大展示場改修工事に伴い利用人数が大幅に減少したことにより、一人当たりのCO2排出量が増加。
- ・コロナ対策による換気で、エアコン負担増。

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・「階段で2 UP！ 3 DOWN！」運動を呼びかけ、階段の利用促進。
- ・「かがわ省エネ節電所 夏・冬の登録」に参加し、照明の節電強化。
- ・館内の冷暖房ロスをなくすため、「ドアの開放に注意」の啓蒙を夏と冬に実施。
- ・「ノーマイカーデー」や「自転車通勤」の実施者が増加。

1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

- エコキャップ回収の結果
68,134個を回収し、CO2を500.0kg削減。
※前年度比 … 回収 …… : -34,378個
CO2削減：-251.0kg
- アーキペラゴ主催「オアシスマップ」に登録。
- 「マイボトル・マイカップ」運動に「マイ箸」を追加。
- 100%ペーパーレス会議を継続。
- 洗面台の吐水量を適度に調整し節水を継続。
- 敷地内の緑化推進。
※レンギョウ・ヒメシャリンバイを植樹。



エコキャップ



オアシスマップ

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

- ・5月30日（ごみゼロの日）、6月8日（世界海洋デー）の活動を説明。
- ・レジ袋有料化に伴い、マイバック持参を呼び掛け。
- ・海ごみによる世界の海洋汚染を学ぶためTARA JAPANの講義へ参加。
- ・香川インテリジェントパークの清掃活動へ参加。
- ・一歩進んだペットボトル分別の説明。
- ・パーム油から考えるSDGs、ゼロカーボンシティの解説。

■ お客様への啓蒙活動

- ・エコキャップ回収の呼びかけを継続。
- ・「節電アクション」の呼びかけを実施。
- ・「クールビズ・ウォームビズ」の呼びかけを実施。



TARA JAPAN



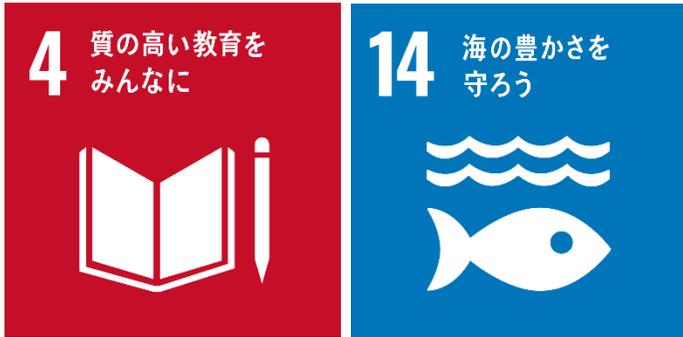
清掃活動

1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



③SDGsの取組



○取組目標

- ①瀬戸内海の海洋清掃に参加し、海洋プラスチック回収とワークショップに参加する。
- ②サンメッセ香川で使用している、プラスチックストローを紙ストローに切り替える。

SDGs 具体的な取組み結果

①今年はコロナウイルス感染拡大のため、当初予定していた「海底探検隊2020@小豆島」が中止となったため、「かがわ里海大学オーダー講座@栗島」へ参加し、海ゴミ調査を実施。



かがわ里海大学オーダー講座



②プラスチックストローの切り替えについては、購入ロット数が多かったため、切り替えをせず、プラスチックストローの使用を停止。



プラスチックストロー 使用停止

1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



③SDGsの取組

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



○取組目標

①香川インテリジェントパーク交流推進協議会が開催する一斉清掃に参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

①毎年実施する「香川インテリジェントパーク一斉清掃」にも4名が参加。

また、マイボトル持参者がお水を補給できる「オアシスマップ」に登録。



・一斉清掃 2020年10月2日実施



・オアシスマップ 2020年4月登録

1) サンメッセ香川

開業：1994年（2005年4月から指定管理者として運営）



④次年度の取組目標

次年度の取組について



■ 定量的な取組

- ①電気使用量の削減（Co2削減）

■ 定性的な取組（SDGs目標）

- ⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」
（海ゴミならば、⑭「海の豊かさを守ろう」も該当）
→社外の環境活動への参加
- ⑪「住み続けられるまちづくりを」
→ごみ拾いSNS「ピリカ」への個人参加及び賛同者5名を目標
- ④「質の高い教育をみんなに」
→「わたしのSDGs」の活動を推進
→2030アジェンダに向けてスタッフ啓発の推進

2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



■ 施設紹介

香川県県民ホールは、大ホール2001席、小ホール807席を中心とした香川県最大級の本格的な芸術文化ホールです。

国内外の優れた舞台芸術の公演をはじめ、県民の創作活動の発表、練習や全国規模の学会・大会、各種会議等に幅広く利用されています。

■ 所在地

香川県高松市玉藻町9番10号

■ 施設規模

敷地面積：11,240㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	661,617	985,072	×	323,454

【実績値評価 要因】

- ・コロナ禍の影響が非常に大きく、利用人数減少により、一人当たりのCO2排出量が増加。
- ・会議室やレストランなど換気に伴う電気使用量の増加。

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・施設の利用終了後には速やかに点検に行き、照明および空調の電源をすぐに切り節電。
- ・その日の天候・気温などに応じて不要な照明・空調を省き、節電の実施。
- ・スタッフが日々館内巡回をし、トイレの蛇口の締め忘れや不要部分の空調の電源をチェック。
- ・事務所内にて毎年ウォームビズ、クールビズを実施。
- ・蓄熱システムの設備を修繕し、夜間電力を積極的に活用。

2) 香川県県民ホール 開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

- ガス使用量・総排水量・食品ごみについても削減。
※要因・・・コロナ禍により利用人数・稼働率の低下に伴い大幅に減少。
- 毎月休館日を利用して県民ホール付近の清掃活動を実施。
- 環境活動計画書・削減手順書を基に、環境活動の実施。



県民ホール 周辺清掃

環境活動計画書・削減手順書			
項目	削減目標	削減手段	評価
エネルギー	省エネ機器の導入	LED照明の導入、省エネ機器の導入	削減率 10%
CO2削減	CO2削減率の向上	省エネ機器の導入、省エネ意識の啓発	削減率 15%
水	節水の徹底	節水器具の導入、節水意識の啓発	削減率 5%
廃棄物	廃棄物の削減	分別収集の徹底、リサイクル品の活用	削減率 20%
環境教育	環境意識の向上	環境教育プログラムの実施、啓発活動の展開	満足度 高

削減手順書

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

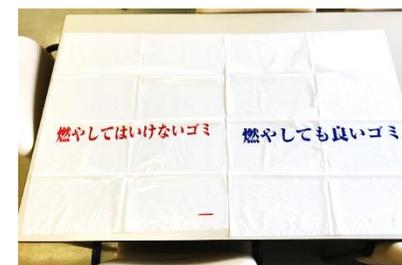
- ・毎月、休館日に行っている全体ミーティングで環境チームがテーマを決めて全員に発表し、環境問題やSDGsに関する知識向上。
- ・自家用車で通勤しているスタッフがいるため、毎月5日をNoマイカーDayとし、公共交通機関の利用を呼び掛け。
- ・事務所の各所にエコの注意喚起ポスターを掲示。

■ お客様への啓蒙活動

- ・施設内のトイレに節電・節水・紙の節約を呼びかける掲示。
- ・施設の利用後にゴミが出ないように、お客様には持ち帰りの協力。
- ・ゴミを回収する場合は、ゴミ袋（回収費用込）を購入いただき、分別の徹底を依頼。



ノーマイカーデー



ゴミの分別



注意喚起ポスター

2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



③SDGsの取組



○取組目標

- ① レストラン「シレーヌ」で使用するストローをプラスチック製品から、とうもろこし由来製品に切り替える。

SDGs 具体的な取組み結果

①「プラスチック使用削減」

レストランで使用するストローをプラスチック製品より、とうもろこし由来製品に切り替え。



・レストラン とうもろこし由来ストロー



2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



③SDGsの取組



○取組目標

- ① チケット販売の一部を環境団体へ寄付をする。
公演チラシ等にも趣旨を明記し、購入者、出演者とのパートナーシップにより取り組む。

SDGs 具体的な取組み結果

① チケット販売の一部を環境団体へ寄付する取組については、新型コロナウイルス感染症により、公演自体が行えず未実施。

しかし、パートナーシップ活動として、清掃会社・建物維持管理会社と協力し、国内で劇場として初めて、感染予防策、安全・衛生基準に対し国際的基準を満たす施設に全世界共通で発行される「**SAFEGUARDラベル**」を2020年12月2日に取得。

感染症も重要な環境への取組みと位置づけ、協力企業、パートナー企業と一丸となり、衛生管理の徹底を継続的に実施。



セーフガードラベル



感染予防対策

2) 香川県県民ホール

開業：1988年（2006年4月から指定管理者として運営）



④次年度の取組目標

次年度の取組について



■ 定量的な取組

- ①電気使用量の削減（Co2削減）

■ 定性的な取組（SDGs 目標）

- ③すべての人に健康と福祉を
- ⑩パートナーシップで目標を達成しよう

→香川県障がい者文化・芸術支援センター様と協力して、文化芸術活動を実施する。

- ⑪住み続けられるまちづくりを
- ⑭海の豊かさを守ろう
- ⑮陸の豊かさも守ろう
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→レストランで使用している割り箸を地元の間伐材を使用したものに変更し、森林保全活動に貢献する。
→ミーティングにて森林保全活動と海洋保全活動の関連性をスタッフに共有する。

3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



■施設紹介

22,000席を誇る香川県最大の県営野球場を中心に、サッカー・ラグビー場、テニスコート、相撲場、多目的広場等を備えた総合運動公園です。

ウェディングや犬の運動会、スイーツマラソンなどスポーツ競技以外の取組も実施しています。

■所在地

香川県高松市生島長614

■施設規模

敷地面積：30.9ha

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	165,127	196,222	×	31,094

【実績値評価 要因】

- ・コロナ禍の影響が非常に大きく、利用人数減少により、一人当たりのCO2排出量が増加。

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・照明器具のLED化を推進するため、今年度第2野球場スコアボード照明・県営野球場エントランスに導入。
- ・緑のカーテンを実施し、電力量削減。
- ・園内巡回時に軽自動車の使用を控え、自転車での巡回を実施。



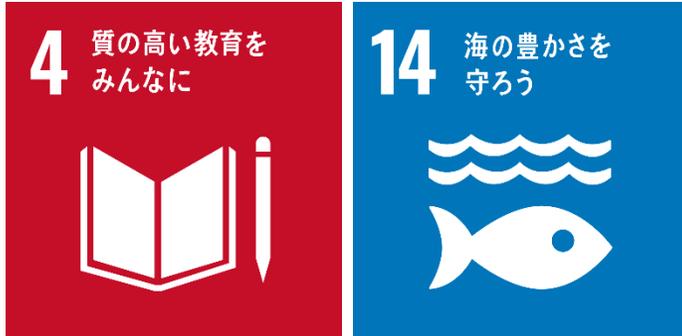
■緑のカーテン

3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



③SDGsの取組



○取組目標

- ①瀬戸内海の海洋清掃に参加し、海洋プラスチック回収とワークショップに参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

①今年はコロナウイルス感染拡大のため、当初予定していた「海底探検隊2020@小豆島」が中止となったため、「かがわ里海大学オーダー講座@栗島」へ参加し、海ゴミ調査を行い改めて海洋プラスチックについて学ぶ。



【研修時間】13:30～16:30

【内 容】かがわ里海大学オーダー講座（座学）

【講 師】NPO法人アーキペラゴ理事 森田桂治氏

3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



③SDGsの取組

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナーシップで目標を達成しよう



○取組目標

① 下笠居コミュニティセンターが主催する「クリーン作戦」に参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

① 下笠居地区クリーン作戦の実施と併せ、香川県総合運動公園周辺の清掃活動を1回実施。



3) 香川県総合運動公園

開業：1982年（2013年4月からいくしまスポーツチャレンジ共同体の代表企業）



④ 次年度の取組目標

次年度の取組について

4 質の高い教育を
みんなに

14 海の豊かさを
守ろう

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

15 陸の豊かさも
守ろう

■ 定量的な取組

① 電気使用量の削減（Co2削減）

■ 定性的な取組（SDGs 目標）

⑭ 「海の豊かさを守ろう」

→ 瀬戸内海海洋清掃に参加し、海洋プラスチックを回収とワークショップに参加する。

⑪ 住み続けられるまちづくりを

→ 古紙回収
→ 園内の植栽維持管理業務で発生した剪定枝、葉などのチップ材を低木・地被類部分に敷く
→ 廃材、不使用備品の有効活用

⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

→ 下笠居コミュニティセンターが主催する「クリーン作戦」に参加する。

⑮ 陸の豊かさも守ろう

→ サッカー・ラグビー場の低農薬の維持管理の実施
→ 園内植栽の樹勢回復処置の実施

4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



■ 施設紹介

数々の感動的な公演の舞台となってきた770席のマーガレットホールをはじめ、会議室や調理室など多目的にご利用いただける各種スペースを完備しております。

カルチャー教室なども実施し、幅広い世代に利用される施設です。

■ 所在地

香川県三豊市詫間町詫間1338-127

■ 施設規模

敷地面積：10,219.62㎡（駐車場含む）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	229,569	137,699	○	-91,870

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・電気使用量削減のため、館内や貸館利用において適正な空調温度設定を実施するため、管理事務所による空調操作の一括管理を実施。各会場利用後には照明の早期OFFを実施。
- ・灯油使用料削減のため、利用時におけるホールやイベントホールの室温状況の事前チェックを行い、空調の必要性を見極めながら、こまめにオン・オフを実施。特に夏季、冬季の空調高稼働時には利用終了時間でアラームをセットして稼働時間を抑え、ムダなエネルギー排出を抑止している。

4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

- エコキャップ回収の継続。
 - ・回収BOXが満タンになれば、詫間支所経由で回収業者へ納入。
- 「みとよSDGs推進パートナー」に登録。
- 館内・外の緑化運動。
 - ・県内の生花店からの寄贈（詫間支所が協力）。
- 館外の清掃活動。
- エアコンの切り忘れを防ぐため、タイマーセット。



みとよSDGs推進パートナー



館内・外緑化運動



スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

- ・空調のこまめなチェックを呼びかけ。
- ・エコ通勤について事務所内に掲示。
- ・館内外のこまめな巡回活動。

■ お客様への啓蒙活動

- ・各部屋に節電を呼びかける表示。
- ・エコキャップ回収を呼びかけ。
- ・窓開放・空気清浄機等、換気を効果的に呼びかけ。
- ・必要のない空調使用の抑制を啓蒙。



エアコンタイマー



清掃活動

4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



③SDGsの取組



○取組目標

①ペットボトルのリサイクルとエコキャップ運動に取り組む。

SDGs 具体的な取組み結果

①館内自販機設置コーナーに、エコキャップ回収ボックスを設置し、回収に努めて、回収BOXが満タンになれば、詫間支所経由で回収業者へ納入。

今後も継続して実施していく。



4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



③SDGsの取組

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



○取組目標

①地元企業と連携して、詫間町内の一斉清掃に積極的に参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

①毎月のミーティング後、施設内外の清掃活動を行う予定だったが、毎月活動ができてなかったため、3か月毎の活動を行うことに変更し実施。

3か月に1回定期的に清掃活動を継続して実施する。



4) 三豊市文化会館マリンウェーブ

開業：1982年（2013年12月からNPO法人三豊市地域文化スポーツクラブの構成企業として参画）



④ 次年度の取組目標

次年度の取組について



■ 定量的な取組

- ① 電気使用量の削減（Co2削減）
- ② エコキャップ回収活動

■ 定性的な取組（SDG s 目標）

- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑭ 海の豊かさを守ろう

→「かがわ里海大学」などの講座に積極的に参加する。
→児童クラブの子どもたちにSDG s のディスカッション講座を実施する。
→メディアやSNSを活用し情報収集を行いスタッフ間で共有し見識を深める。

- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナースhipで目標を達成しよう
- ⑮ 陸の豊かさも守ろう

→ 3か月に1度のミーティング後館外の清掃活動を実施
→まちづくり推進隊詫間と同行し、ゴミ拾いなどのパトロールなど共同で行う。

5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



■ 施設紹介

音を観るまち“文化芸術クリエイションホールをめざして”を基本理念に生まれ変わりました。

西讃地区最大の収容人員1,200席を誇る大ホールを中心に音楽に適した334席の小ホール、展示会など様々な利用できる多目的ホール等を完備しております。

■ 所在地

香川県観音寺市観音寺町甲1186番地2

■ 施設規模

敷地面積：19,369.33㎡（公共駐車場、計画前面道路除）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	163,087	211,483	×	48,386

【実績値評価 要因】

・コロナ禍の影響が非常に大きく、利用人数減少により、一人当たりのCO2排出量が増加。

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・電気使用量削減のため、未使用時・照明不要時のスイッチOFFを徹底。敷地内の夜間照明は、タイマー制御により自動消灯。空調も同様に、利用時以外は、換気などの必要空調を除きスイッチOFFを徹底。また、デマンド管理にて監視体制を実施。
- ・水道は、各トイレの手洗いは感知式、トイレ流水は雨水となっているため、節約型。



デマンド管理

5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

■ 施設光熱費節約の意識は定着しつつあり、水光熱使用料も対前年比では節約できていることに加え、昨年度末からのコロナウイルスの影響によりホール、会議室利用数減少も重なり、使用量も削減できている。

- ・電気使用量：59516 Kw 減
- ・ガス使用量：約57m² 減

■ 敷地内、芝生や雑草管理を年に2～3回実施。
美化、害虫の駆除、ゴミのポイ捨て防止に努めている

■ レンタサイクルの推奨



スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

- ・電気空調の操作パネルは施設利用時の前・利用中・後を定期チェック
- ・照明操作パネルも開館時、施設利用前後、日の入り時、夜間、閉館時で定期チェック

- ・館内外のこまめな巡回活動
- ・エコ通勤への呼びかけ

■ お客様への啓蒙活動

- ・各部屋に節電を呼びかける表示
- ・エコキャップ回収を呼びかけ
- ・窓開放・空気清浄機等、換気を効果的に呼びかけ
- ・必要のない空調使用の抑制を啓蒙



5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



③SDGsの取組



○取組目標

- ① カフェサービス及び打ち合わせ等で使用するものを紙コップ、紙ストロー、木製マドラーに切り替える。

SDGs 具体的な取組み結果

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響で、公演の中止が相次ぎ、カフェサービスの実施が出来なかったが、紙コップ・紙ストロー・木製マドラーは準備しているので、今後サービスを開始した際、利用する。



5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



③SDGsの取組

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



○取組目標

- ① 観音寺商工会議所が主催する銭形まつりに可能な限り協力することで地域の賑わいづくりに貢献するとともに、実行後の清掃活動に参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

- ① 銭形まつりは、コロナのため中止となったが、11月22日放映の「どっかんおんじ」のテレビ放映に際し撮影協力。また多目的ホールでは11月8日「七宝鍋」のイベント開催時、協力企業として参加。



5) 観音寺市民会館

開業：1982年（2017年4月からあなぶき・四国舞台グループの代表企業）



④次年度の取組目標

次年度の取組について

4 質の高い教育を
みんなに

14 海の豊かさを
守ろう

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

15 陸の豊かさも
守ろう

■ 定量的な取組

- ①電気使用量の削減（Co2削減）

■ 定性的な取組（SDG s 目標）

- ④「質の高い教育をみんなに」

→東京演劇集団「風」が企画するバリアフリー演劇の実施。

- ⑪住み続けられるまちづくりを
- ⑰パートナーシップで目標を達成しよう

→観音寺商店街連合会・観音寺市地域おこし協力隊員と連携し、観音寺市及び観音寺市民会館の賑わいづくりに貢献する。

- ⑮陸の豊かさも守ろう

→会館内駐車場の植え込みの手入れ、ゴミの不法投棄防止

6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



■ 施設紹介

吹き抜け空間を活用した501席のホールや市立図書館、小規模保育所や市民サービスセンターなどを併設しております。

人が集い交流する拠点としての複合施設です。

■ 所在地

徳島県美馬市脇町大字猪尻字西分116-1

■ 施設規模

延べ床面積：23,256㎡（駐車場合む）

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価			
		①目標値	②実績値	③評価（②－①）	
省エネルギー化推進による二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ /人	-	-	-	-

※電気使用量は美馬市管轄のため、CO2排出量のデータはございません

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・エアコンの温度を可能な限り適正温度に設定を推奨。
- ・倉庫や給湯室等、使用頻度が少ない箇所の電気は使用時以外消灯し、省電力を実施。
- ・自宅から職場が近い職員は、エコ通勤を定期的に行い、CO2の削減を実施。

6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

- コロナ禍でエコプラザが停止になり、それに伴いゴミの削減。
- 事務所から排出される、ペットボトル・缶・ビンのゴミを、課員が交代で持ち帰り、リサイクル施設や専用の回収業者に持参。



ペットボトル、食品トレーの回収



スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

- ・クールビズ・ウォームビズの推奨。
- ・通勤距離が短い課員には、エコ通勤を呼びかけ、実施。
- ・お弁当を購入する際、食品容器を回収してくれる業者に注文する事で、プラスチックゴミの排出抑制。
- ・各家庭での環境活動（服の再利用・生ごみの腐葉土化等）の取りまとめと共有。

■ お客様への啓蒙活動

- ・エコバック利用の推奨。
- ・クールビズ・ウォームビズの呼びかけ。



服の再利用 ・ 生ごみの腐葉土化

6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



③SDGsの取組



○取組目標

- ①瀬戸内海海洋清掃に参加し、海洋プラスチック回収とワークショップに参加する。
- ②社員が施設内のスーパーでの買い物する際はマイバックを使用する。

SDGs 具体的な取組み結果

①今年にはコロナウイルス感染拡大のため、当初予定していた「海底探検隊2020@小豆島」が中止となったため、「かがわ里海大学オーダー講座@栗島」へ参加し、海ゴミ調査を行い改めて海洋プラスチックについて学ぶ。

②社員のマイバック利用実施。



6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



③SDGsの取組

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



○取組目標

- ①美馬市観光ビューロー（美馬市観光課）が主催するイベントに可能な限り協力し賑わいづくりに貢献する。また、美馬市が主催する河川掃除に参加する

SDGs 具体的な取組み結果

- ①美馬市観光ビューローのイベントと河川清掃は今回コロナで中止となったが、ミライズで出来る事を模索し、3密を避けるイベントとしてミライズマルシェを開催し、賑わい作りへの貢献ができた。



6) 美馬市地域交流センター ミライズ

開業：2018年（2018年4月からあなぶき・TRCグループの代表企業）



④ 次年度の取組目標

次年度の取組について

4 質の高い教育を
みんなに

14 海の豊かさを
守ろう

11 住み続けられる
まちづくりを

17 パートナースhipで
目標を達成しよう

15 陸の豊かさも
守ろう

■ 定量的な取組（Co2削減）

- ① ノーマイカーデー 2回/月
- ② 西側広場にグリーンカーテンの実施

■ 定性的な取組（SDGs 目標）

④ 質の高い教育をみんなに

→ スタッフ個人個人で環境活動に取り組み、それを共有・啓発する。

⑭ 海の豊かさを守ろう

→ 海ゴミ研修などに参加する。

⑪ 住み続けられるまちづくりを

→ 地域の清掃活動に参加する・施設内にあるプランターに、新たに植樹を行う。

⑰ パートナースhipで目標を達成しよう

→ 美馬市観光ビューローと協力し、美馬市を中心に賑わい作りを行う。

⑮ 陸の豊かさを守ろう

→ つるぎ山ローカルガイド主催のつるぎ山周辺の清掃に参加

7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



■ 施設紹介

ル・ポール栗島、キャビン、栗島少年自然の家、浮棧橋から構成されます。

その中でもル・ポール栗島は、宿泊施設やレストラン、宴会場などが集合する栗島のレジャー拠点になります。

■ 所在地

香川県三豊市詫間町栗島1418-2

■ 施設規模

延べ床面積：1471.24㎡

①今年度の実績評価

省エネルギー化推進によるCO2削減

環境目標項目	単位	実績値評価		
		①目標値	②実績値	③評価 (②-①)
省エネルギー化推進による 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂ /人	-	-	-

※施設運営初年度のため、過去データがなく目標設定が出来なかったため数値データなし

省エネルギー化推進によるCO2削減 活動について

- ・宿泊利用者の多かった7月の電気使用量は、利用者数に比例して11,060KWHと多かったもののその後は毎月平均して6,500KWH付近を推移する電気使用状況となっており、必要時以外は省エネに努めている
- ・レンタカー事業としてグリーンスローモビリティを活用し、有害ガスの排出を抑える



7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)

②環境低減への取組

環境活動実績及びその評価

- 運営初年度であった為、削減目標の設定はありませんでしたが、新型コロナウイルス拡大の影響を受け臨時休館した際には、使用電力も最小限に抑えた。
- お客様用各トイレの照明を感知式に切り替え、未使用の際には照明がオフとなる仕組みの為、電気使用量にロスなく使用。
- トイレの洋式便座には蓋が設置されており、暖房便座の節電。



トイレの感知式照明

スタッフ・お客様への啓蒙活動

■ スタッフへの啓蒙活動

- ・クールビズ・ウォームビズの推奨。
- ・毎月の運営会議の際に電気、水道、重油使用量について触れ、課員へと省エネ意識づけ。
- ・清掃活動。

■ お客様への啓蒙活動

- ・トイレ洗面所は感知器型ではないため、節水の呼びかけを掲示。
- ・海ほたるを通じて環境問題について啓蒙。



節水呼びかけ



海ほたる

7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



③SDGsの取組



○取組目標

- ①TARAJAPANとの連携により、海洋環境保全に向けた取組みを実施する。

SDGs 具体的な取組み結果

- ①Tara Océan財団は、科学探査船タラ号に世界中から集まった科学者や研究者を乗せて、世界中の海が直面する環境的脅威および気候変動による影響を調査しており、世界の海洋環境保存の勉強会を実施。



7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



③SDGsの取組

11 住み続けられるまちづくりを 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○取組目標
①地元団体・住民と連携して、栗島島内の一斉清掃に積極的に参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

- ①島内一斉清掃に参加。
一斉清掃だけでなく、地域の祭りの後の片づけや清掃など積極的に参加。

【日程】7月第2土曜日
【内容】西浜海浜清掃



7) 三豊市海洋記念公園(ル・ポール栗島)



④次年度の取組目標

次年度の取組について



■ 定量的な取組

①電気使用量の削減 (Co2削減)

■ 定性的な取組 (SDG s 目標)

④質の高い教育をみんなに

⑭海の豊かさを守ろう

- 地域の皆様で実施する西浜の清掃活動に参加する。
- 清掃活動を通して、漂着物にどのような差が出てくるのか調査を重ね、データを1年間蓄積し、社員教育に活用する。
- 海ほたるの生育に関係する海水温データを取り発信し、海ほたるを守る活動に繋げる。

⑰パートナーシップで目標を達成しよう

⑪住み続けられるまちづくりを

- 三豊市や関係各所と連携をとり、排ガスを出さないGSMを、島内移動の方法として島民の皆様に更なる定着化を図る。

⑮陸の豊かさも守ろう

- GMSレンタカー、島内来訪者の利用促進を図る。

※GSM グリーンスローモビリティ

8) 業務推進室 SDGs の取組



○取組目標

- ① 当社独自のSDGs eラーニングによる社員教育
- ② 里海大学との連携による海洋環境保全活動
- ③ 香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に事業部単位で参加する。

SDGs 具体的な取組み結果

- ① 当社独自のeラーニングを実施 回答率100%
- ②③ 全施設対象として、かがわ里海大学オーダー講座を受講。海ゴミを通して近年の海洋プラスチックごみについて学ぶ。オーダー講座に合わせ県内一斉海ごみクリーン作戦「さぬキラ」に参加。



8) 業務推進室 SDGs の取組成果

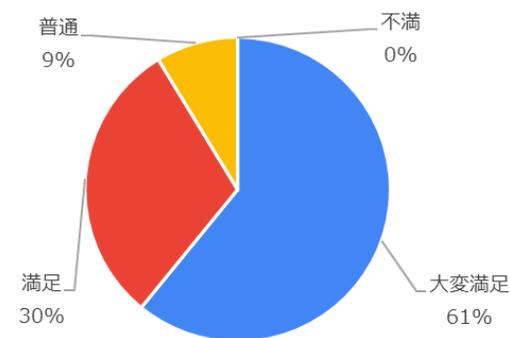
【全施設対象 かがわ里海大学オーダーク講座を受講実施後アンケート】

参加者23名 大変満足・・61% 満足・・30% 普通・・9% **91%が満足**

- ・ゴミに関して何がどのように影響を与えるのかを知る良い機会となりました。
- ・具体的に自分たちが打たなければならない次の手を考える取っ掛かりになりました。
- ・実際に活動されてる方の講座なので、話に深みがあり楽しく受講できました。
- ・講義だけでなく、実際にゴミ調査をするなど目に見える研修内容が良かったです。
- ・ただ関心を持つのではなく、少しずつからでも具体的な行動を持たねばと思える研修でした。
- ・想像以上に海ゴミが落ちている事が分かりました。特にプラスチックゴミが多く破片になり海に入ると処理できないという意味を、体験して知る事ができて良かったです。
- ・マイクロプラスチック問題が深刻だと思いました。
- ・ゴミを減らすという小さな一歩からでも進めていきたいと思いました。

全社の取組ではあるが、社員一人ひとりの意識の向上として、ある一定の成果はあがった。今後も継続して実施していく。

かがわ里海オーダーク講座 参加者満足度



8) 業務推進室



④ 次年度の取組目標

次年度の取組について



【事業部としてのSDGs取組強化】

- ④ 質の高い教育をみんなに
→SDGs イベント情報・実施サポート
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
→里海大学との連携による海洋環境保全活動
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう
→各施設SDGs 地域貢献サポート
→香川県が主催する県内一斉海ごみクリーン作戦
「さぬキラ」に事業部単位で参加

9) その他 SDGs 活動実績 【放課後児童クラブ】



4 質の高い教育を
みんなに

11 住み続けられる
まちづくりを

三豊市 放課後児童クラブでSDGs勉強会開催

放課後児童クラブに通う子どもたちに対し、SDGsのカードゲームを実施。貧困・飢餓・教育について学び、自分たちの生活に置き換えてSDGsを考える教育を行った。



★ うりぼうキッズ山本 SDGs宣言!! ★
 あたりまえに感謝する!!
 ぼきんをする!!
 リサイクル!!
 また"なものをかわない!!
 食品ロスをなくす!! 食べ物をのこさない!!
 ボランティア活動!!
 また"な電気を使わない!!
 苦しんでいる世界の子どもたちのため!!
 水を大事にする!!
 ジェノの分別する!!

みんなの手で
 世界を平和に
 にする
 みんなが
 がんばる!!

- ①すきらいをいわずきょうしやくをのこさない。
- ②食品ロスをへらすためにいるものだけ買う。
- ③おいてあるもの1持ちが苦しんでいる人へ送れる。だから、あまっているものを送る。
- ④勉強が出来るのはみんなのおかげだ。

9) その他 SDG s 活動実績

【三豊市海洋記念公園 ルポール栗島】



11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナースィップで
目標を達成しよう



スマートアイランド推進実証調査に参加

三豊市栗島でのスマートアイランド推進実証調査に、指定管理者として管理運営する「ル・ポール栗島」を発着起点としたGSM（※1）運行の全般を担う。低炭素型交通社会の確立と観光手段の多様化を目指し持続可能な島内モビリティの実証を三豊市・地域団体の皆様と連携。

※1 GSM（GreenSlow Mobility）導入による低炭素型交通社会の確立と観光手段の多様化

【主な活動内容】

- ① 島民の島内における移動ニーズの把握及び移動データの提供
- ② 「ル・ポール栗島」利用者向けに提案するGSMによるレンタカー事業への布石作り
- ③ ドライバー雇用による島内雇用への貢献





環境マネジメント レポート

あなぶきエンタープライズ 公民連携（PPP）事業部
活動期間 2020年4月～2021年3月

